

施策評価シート(平成26年度評価実施)	担当部課名	企画部 企画広報課	関連部課名	建設部 土木港湾課
基本目標	安全で快適な魅力あるまちづくり【都市基盤・安全】			
施策名	港湾・海岸			
産業の発展と国際競争力の強化を目指して、港湾施設整備、鉄道や道路との連携などによる物流拠点機能の強化を図るとともに、港に人々の交流や賑わいを創出するために、竹島地区などにおける施設の整備・充実、良好な海岸景観の形成などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 港湾施設の整備と機能の充実を図り、国際競争力の高い港湾として活用されています。</li> <li>● みなとが人々の交流の場として賑わっています。</li> </ul>				

#### ◆具体化した施策の取り組み実績

##### 1 港湾物流機能の強化

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
ポートセールス・要望活動	国・県へ要望	国・県へ要望	国・県へ要望
倉舞港長寿命化	委託 4,694千円	-	-

##### 2 賑わいのある“みなと”づくりの推進

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
みなとまちづくり事業の実施	-	-	-
イベントの開催	4件	5件	5件

##### 3 海洋性レクリエーション機能の充実

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
パラリンピックの練習	17	15	15
ヨット大会の開催	4	5	4

◆評価指標

指標名	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	将来目標
蒲郡地区 外国貿易数量(t)	目標値		800,000	600,000	
	実績値	599,219	586,985		平成32年度
みなとでのイベント参加者数	目標値		5,000	5,000	
	実績値	783	4,500		平成32年度
「ハリアフリーボート」マンボウ 利用回数	目標値		800	800	
	実績値	730	691		平成32年度
倉舞港長寿命化計画策定率	目標値			65%	100%
	実績値	65%	65%		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
蒲郡地区 外国貿易数量(t)	蒲郡地区で取り扱った輸出入の貨物量の増減で物流機能の状況を判断する
みなとでのイベント参加者数	みなとに於いてイベントを開催することにより賑わいの状況を判断する
「ハリアフリーボート」マンボウ 利用回数	マンボウを活用した海洋レクリエーション活動の状況を判断する
倉舞港長寿命化計画策定率	(計画策定施設数/市管理施設数) × 100 (%)

◆指標の分析

外国貿易数量は欧米への完成自動車輸出が好調であり、今後も増加傾向が想定されるため、平成26年度は取扱量が増加する予定である。  
 また、既存貨物の利用促進や新規事業者開拓の為、原木、完成自動車・中古自動車を対象に助成制度の活用により、貨物量の増加が期待できる。  
 みなとでのイベントは、ワークフェスティバルの開催等により平成26年度は利用者の増加が見込める。  
 マンボウの使用回数は、パラリンピック強化練習の実施により若干の増加が見込める。

◆今後の方針

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港湾物流機能の強化 関係諸団体への要望活動は引き続き行い、新規利用者開拓が必要がある。</li> <li>・賑わいのある“みなと”づくりの推進 イベント開催が春～秋の期間限定的であるため、年間を通じて賑わいを創出する施設整備が必要。</li> <li>・海洋性レクリエーション機能の充実 インナーハーバー計画の推進や周辺エリアの将来計画の見直しが必要。</li> </ul>
-------	---

今後 施策 展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港湾物流機能の強化 関係諸団体への要望活動は引き続き行くとともに、新規利用者開拓の為、助成制度を活用し、ポートセールスについて重点をおいて行っていく。</li> <li>・賑わいのある“みなと”づくりの推進 イベント開催が春～秋の期間限定的であるため、年間を通じてイベントを実施するよう、関係者との調整を行っていく。</li> <li>・海洋性レクリエーション機能の充実 周辺エリアの将来計画の見直しを検討する。</li> </ul>
----------------	---

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	26年度末には-11m岸壁の一部供用開始が予定されているが、連続3バース建設には利用拡大が条件となってくる。そのためには、新規利用者開拓、助成制度を活用したポートセールスを重点的に取組む必要がある。 また、賑わい創出の為、単発イベントに頼らず、年間を通じて利用される環境づくりや将来計画を見直す必要がある。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	今後の蒲郡市の活性化のためには、蒲郡港の活用が大きな位置を占めている。国道23号バイパスは、平成26年春に蒲郡ICまで供用が開始され、蒲郡港の利便性が一段と増している。港活性化のためには、現在進めている-11m岸壁の整備が重要である。県事業として進められ平成26年度一部供用開始予定であり、今後港を多くの企業等に利用いただくようセールスし、全体3バース完成に向け、国・県にも引き続き要望を行う。また、港の賑わいの創出のため、「みなとオアシス蒲郡」の活用と取り組みが必要である。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く事業費(千円)	人件費(千円)	人工	総合評価	事業の種類別	市長マニフェスト	実施計画
3-6	企画広報課	21	海のまちづくり推進事業	5,507	8,039	0.87	A	カ	4	×
3-6	企画広報課	23	三河港各種団体育成推進事業	7,211	3,741	0.40	B	カ	3	○
3-6	土木港湾課	322	東港整備事業	4,107	2,677	0.50	A	エ	—	×
3-6	土木港湾課	325	港湾整備事業	5,308	2,187	0.30	A	ウ	—	○
3-6	土木港湾課	326	海岸環境整備事業	6,359	2,677	0.50	A	ウ	—	×